

令和7年度 第2回定例記者会見

令和7年8月26日(火)
午前10時30分

招 集 日

令和7年9月1日(月)

議 案

21件 [専決処分の承認(1)、教育委員会委員任命の同意(1)、
予算(3)、条例(9)、決算認定等(7)]

報 告

2件 [継続費精算報告(2)]

補正予算の概要

(1)補正予算額 **1 億 4,454 万 5 千円**
＜一般会計 補正後累計 313 億 3,785 万 1 千円＞

(2)主な事業

新規

中心市街地公共施設再編事業

事業費：2,000万円 担当課：公共施設再編・まちづくり準備室

新規

義務教育学校用地先行取得事業

事業費：2,795万8千円
(用地取得費は債務負担行為を設定) 担当課：教育総務課

新規

行田ストーリーライド造成事業

事業費：1,305万6千円 担当課：商工観光課

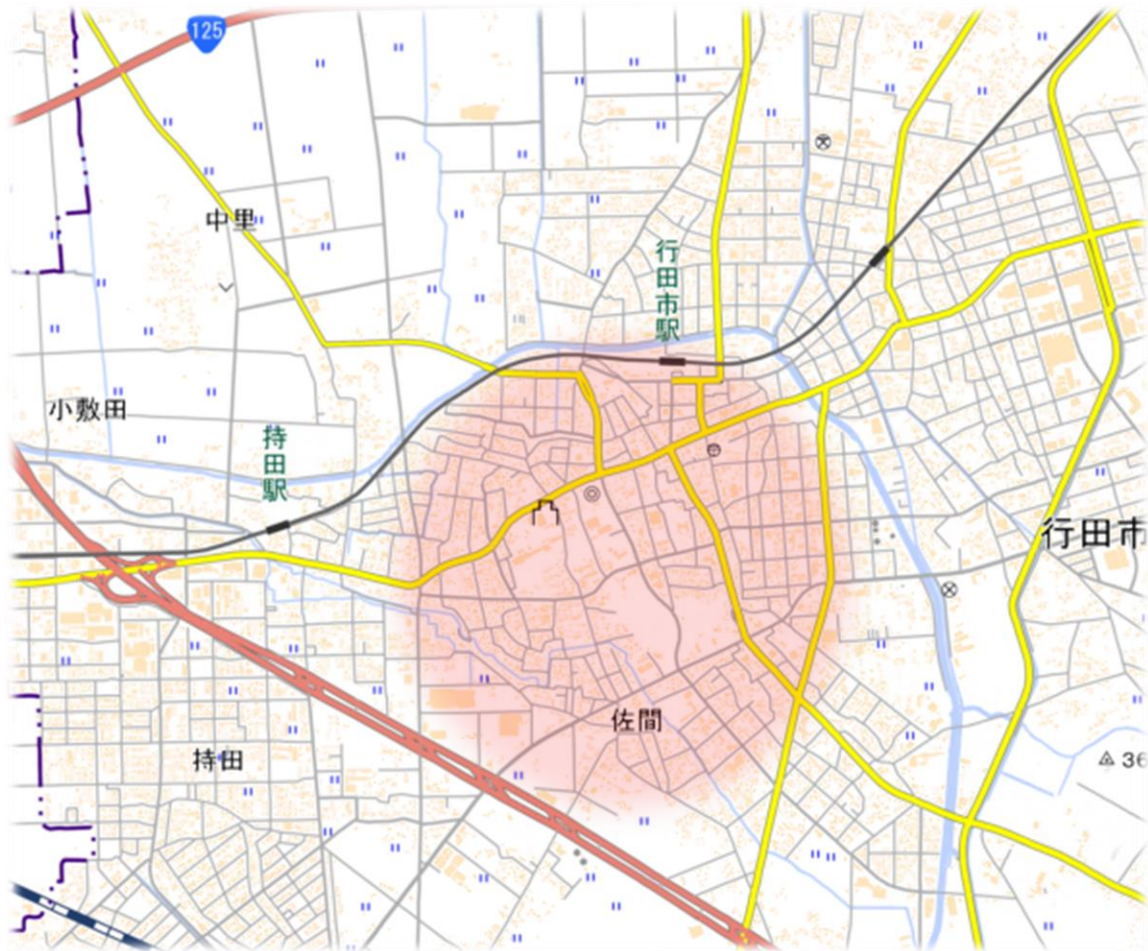
スマート農業等推進補助金

事業費：600万円（R7年度当初予算：10,000千円）担当課：農政課

中心市街地の魅力を高めるため、新しい行田の地図づくりに着手します！

補正予算額：2,000万円

- ・企業向けサウンディング調査
- ・市民向けワークショップ



公共施設再編・まちづくりの方針

- 1 分散・老朽化する公共施設を **機能的** に再編
- 2 **官民連携** での整備によりまちの付加価値向上
- 3 これらを通じた **市民サービス・市民満足度の向上**

令和7年度

住民参加のワークショップ・企業向けサウンディング調査

令和8年度以降

令和7年度のワークショップ等を踏まえ、基本構想の検討へ

問い合わせ先

総合政策部公共施設再編・まちづくり準備室 TEL 048-556-1111(内線302)

概要 新たな義務教育学校(Bブロック)設置に向け、敷地の確保を図っていくに当たり、関連経費を計上するもの

- 用地測量、物件調査等の委託費用
- 土地評価(不動産鑑定)の委託費用 など
- ※ 用地取得費について債務負担行為を設定

補正予算額：2,795万8千円

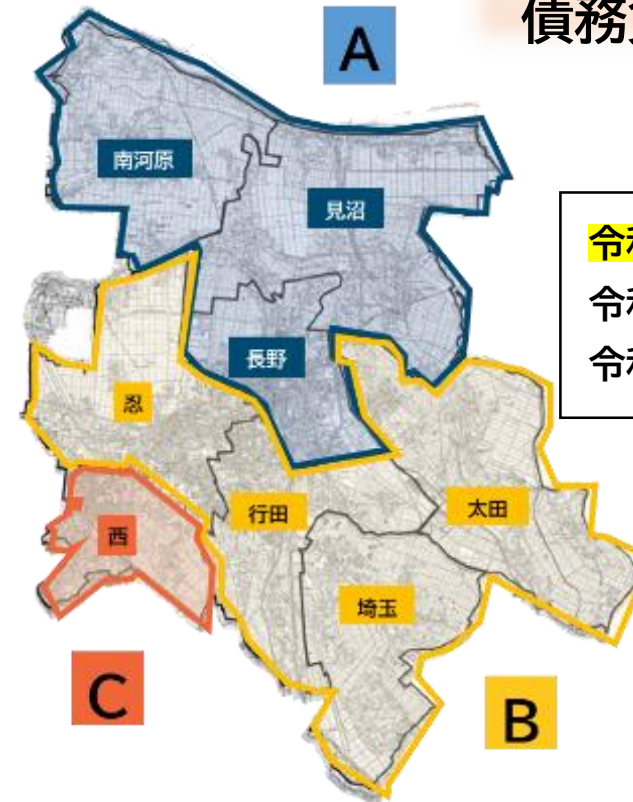
土地評価、用地測量、物件調査 など

※併せて用地取得費について

債務負担行為を設定

今後、候補地の地権者と交渉していくため、用地測量や土地評価等の必要経費を計上するとともに、用地取得に必要な債務負担行為を設定するものです。

【用地取得の優先候補地】 教育文化センターみらい周辺



令和12年度:Bブロック開校予定

令和14年度:Aブロック開校予定

令和16年度:Cブロック開校予定

問い合わせ先 学校教育部教育総務課 TEL 048-556-1111(内線5307)

概要

補正予算額：1,305万6千円

- ・見学中心の観光地めぐりではなく、「行田の歴史や文化を体験するストーリーライド」として観光コンテンツを構築
- ・徒歩や車では難しい“ちょうど良い移動の手段”として「電動キックボード」を活用した新しい体験型ツアーの造成
- ・観光ガイドによるツアーとするほか、移動時に「スマートヘルメット」を着用し、ツアー風景を撮影した動画を提供するなどICTも積極的に活用し、行田への没入感と高付加価値を創出した体験型観光を創出

行田ならではの多彩なコースを造成

①ロングコース(1日コース)

- ・古代～近代を体験できるタイムトラベルコース
- ・花手水&ライトアップを体験できるナイトツアー

②ショートコース(半日コース)

- ・日本遺産をめぐるコースなど、テーマ別に複数設定

③オプション

- ・甲冑着付体験、はにわ作り体験、足袋づくり体験、足袋工場見学 等



事業実施に当たり、観光庁補助金「**地域観光魅力向上事業**」の採択を受けて実施

スケジュール

10月 ツアー企画、モデルコース選定、ガイド募集・育成
11月 ツアーコース造成、国内外に向けたPR、お試しツアー
12月 ツアー実装

問い合わせ先

環境経済部商工観光課 TEL:048-556-1111(内線5406)



行田市スマート農業等推進事業

資料6

補正予算額：600万円 ※当初予算額1,000万円に不足が生じたため増額

概要

本市の基幹産業である農業の持続発展を実現するため、ロボット技術やICTを活用して省力・高品質生産を実現するスマート農業について、市内農業者等への更なる促進を図るとともに、農業所得の増大に向けた積極的な取組を支援するもの。

補助対象者

市内の農地の耕作者、
農業法人等

補助対象額

補助対象事業に係る経費の
1/2以内(1,000円未満切捨て)

補助上限額

個人・法人:100万円
農業者団体:200万円

補助対象事業

スマート農業技術等の導入事業

効率的な生産量の拡大、または生産コストの縮減を図るため、スマート農業技術を導入および利用しようとする事業。

【主な活用例】

自動操舵システム付トラクター



農業用ドローン



6次産業化の推進事業

新たに農産物を加工した商品開発および販売しようとする事業。また、農産物のブランド化や新たな特産品を生産しようとする事業。

観光農園の整備事業

市内外の方が農産物の収穫体験等をできる観光農園や農産物の栽培ができる市民農園を開設しようとする事業。

畦畔の撤去事業

耕作地の集積・集約化のために畦畔を撤去する事業。

問い合わせ先

環境経済部農政課 TEL 048-556-1111(内線5423)

秩父鉄道×行田市 S Lパレオエクスプレス行田市特別運行

忍城址や田んぼアート、埼玉県初の日本遺産に認定された行田足袋と足袋蔵など、多くの地域資源を有し、これらを活かした地方創生に取り組んでいる行田市と、「S Lパレオエクスプレス」の利用促進に取り組んでいる秩父鉄道株式会社がタッグを組み、「S L日本遺産のまち行田号」として行田市駅から特別運行します。S Lパレオエクスプレスが行田市内を運行するのは、昭和63年の運行開始以来、初めてとなります。

名 称	S Lパレオエクスプレス行田市特別運行「S L日本遺産のまち行田号」
運行日時 及び 出発式	令和7年8月30日（土）午前9時55分 行田市駅発（午前10時09分 熊谷駅着） 《出発式》 時間及び会場：午前9時15分～ 行田市駅ホーム 内容：主催者あいさつ（秩父鉄道社長、行田市長）、来賓あいさつ、テープカット、記念撮影、 出発※ ※ 行田市駅から熊谷駅までの区間、プレスの乗車可能 来賓：・衆議院議員 野中 厚 様 ・行田市議会議長 福島 ともお 様 ・関東運輸局長 藤田 礼子 様 ・埼玉県交通政策課長 吉井 洋紀 様 ・運輸総合研究所専務理事、行田市政策特別顧問 奥田 哲也 様
運行区間	【下り】行田市駅 → 熊谷駅 → 三峰口駅※当日は出発式前に熊谷駅→武州荒木駅間の回送区間の特別ツアーを実施 【上り】三峰口駅 → 熊谷駅
今後の運行	令和7年10月に運行予定（日程は、近日中に秩父鉄道株式会社様から発表予定）

下りの乗車券は販売初日に
約10分で完売！

問い合わせ先 市民生活部交通政策課 TEL 048-556-1111(内線259)

田んぼアートによる波及効果

田んぼアートの見頃を迎えた
7月1日～8月17日までの昨年度との比較

古代蓮の里における入館者数 約2.4倍
物品売上額 約1.3倍



その効果は市内にも波及！

ぶらっと♪ぎょうだ、さきたまテラス など

来場者数 約1.5倍
売上額 約1.5倍



市内の商店等の声

「売上が1.5倍になった！」
「観光客が市内を周遊している！」

さらなる市内への回遊を

事業概要

田んぼアートをきっかけに、行田市へ来訪した観光客を市内回遊につなげるため、行田市観光周遊アプリ「たびなび行田」を活用した「デジタルスタンプラリー」を実施する

期間

令和7年8月14日(木)～11月3日(月)

対象者

次の要件を全て満たす方
・古代蓮会館の入館券を持っている
・「たびなび行田」アプリを使用し、スタンプラリーに参加している

問い合わせ先

環境経済部商工観光課
TEL 048-556-1111(内線5406)



参加費

無料(スタンプラリーの参加費は無料。各施設の入館料や購入費用は実費)

【市内6か所を巡るコース】

田んぼアート(古代蓮の里)～ 前玉神社 ～ さきたまテラス ～
行田八幡神社 ～ 忍城址(郷土博物館) ～ ぶらっと♪ぎょうだ

景品

【参加賞】ポストカード 先着1,000名
※全コースをクリアした方にぶらっと♪ぎょうだで配布

【抽選】(11月下旬発送予定)

- ・特賞 JAほくさいのパックごはん 3名
- ・1等 田んぼアート米2kg 20名
- ・2等 行田の特産品(お菓子) 10名
- ・3等 のびねこ(行田タワー) 10名



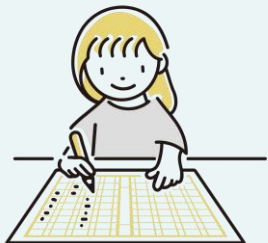
見頃のポストカード(イメージ)

市では、子どもたちの自由で柔軟な発想力で生み出されたアイデアを広く募集し、市政の参考とするとともに、子どもたちの市政に対する関心を高め、郷土愛やシビックプライドを育むことを目的として「夢のまちコンテスト～みんなで描く行田の未来～」を初めて開催します。

募 集 内 容 作文・絵画・動画のいずれかの作品を募集します

作文テーマ

「市長になったらやりたいこと」



400字詰め原稿用紙2枚まで

絵画テーマ

「行田の未来」



四つ切りまたはB3判で縦横自由

動画テーマ

「私がおすすめする行田のよいところ」



1分30秒以内(ショート動画も可)

応募対象者 市内に在住の小学4・5・6年生

応募締切 令和7年9月5日(金曜日)

表彰式 10月4日(土)に表彰式を行い、市長賞、優秀賞を贈ります。
(入賞作品は市役所本庁ロビー、市ホームページ及び市公式YouTubeなどに掲載予定)

問い合わせ先 総合政策部企画政策課 TEL 048-556-1111(内線312)



行田古墳フェスティバル 開催決定

令和7年10月19日(日)10:00~16:00

会場：さきたま古墳公園 さきたまテラス周辺

ステージイベント

- ・「古墳にコーフン協会」会長のまりこふんさんや、行田観光大使の鳥居みゆきさんなどによるライブやトークショー
- ・各種ステージイベント



熱気球体験～今年こそ～

気球に乗って広大な埼玉古墳群を上から眺める



古墳スタンプラリー

さきたま古墳公園に設置されたスポットを巡り、スタンプを全て集めた方には行田古墳フェスティバルオリジナルグッズをプレゼント



【新】KOFUN de マルシェ

市内外で活動しているハンドメイド作家さんなどの作品を販売するマルシェを初開催

【新】ミニチュアホース撮影会&ふれあい体験

古代衣装を着たミニチュアホースとの写真撮影やふれあい体験を初開催

【新】シャボン玉ショー&シャボン玉遊び

さきたま古墳公園で、幻想的な世界が広がるシャボン玉ショーを初開催



主催 行田古墳フェスティバル実行委員会

後援 行田市、行田市教育委員会、埼玉県

問い合わせ先 行田古墳フェスティバル実行委員会(環境経済部商工観光課内) TEL 048-556-1111(内線5406)

職員の意識改革のため、ワークショップ形式の研修

「行田Creative塾」を開講しました！！

行政課題が複雑多様化する中、「行田市基本構想」で描いた将来像を実現していくためには、職員がクリエイティブな発想力を高め、意識と行動を変えていかなければなりません。

広告業界の第一線企業の講義により、海外を含めた様々な参考事例に触れ、ワークショップ形式で意見を交わすことで、新たな切り口により行政サービスを考えるための研修です。

研修は全3回を予定。最終回では市役所の「当たり前」を変えるためのアイデアを提案します。

- ・令和7年8月6日（水）、行田市総合福祉会館「やすらぎの里」で第1回を開催
- ・参加した20名の職員が積極的に意見を交わしました。



第2回

日時 令和7年10月1日(水)午後3時30分～午後5時
場所 行田市教育支援センター(行田市上池守47)
内容 「当たり前ってなんだろう？」
現状から一歩はみ出す／対話する

問い合わせ先

総務部人事課 TEL 048-556-1111(内線209)

公務 × Creativity =

新しい行田のかたちを描いた「行田市基本構想」。でも、それを本当にかたちにするのは、机の上の計画じゃありません。そこに向かって、ひとつひとつ動き出す“人の力”です。だから、まずは始めてみることにしました。チャレンジする仲間が集まって、世界中の優れた事例を浴びるように見て、対話し、一緒に考える場を。名前は、「行田 Creative 塾」。“公務にクリエイティビティを掛け算すると、どんな答えが出るんだろう？”そう考えて、いま、ちょっとでもワクワクした方はぜひご参加ください。

行田Creative塾、開講！

Gyoda City
School of
Creative Leadership

	内容	開催日	開催場所
第1回	「公共サービスってどこまでできるかも」 世界の先進国に触れる／考える	令和7年 8月6日(水)	総合福祉会館 「やすらぎの里」
第2回	「当たり前ってなんだろう？」 現状から一歩はみ出す／対話する	令和7年 10月1日(水)	教育支援センター
第3回	「小さな気づきをチームで見つける」 連携する／模範する／発信する	令和7年 11月6日(水)	部内

受講生の応募については、募集要項をご覧ください。年齢、職位は問いません。

総務部人事課